タイガー株式会社

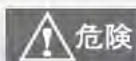
アニマルキラー® CA15DC

取扱説明書／保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書には、タイガー電柵器「TAK-CA15」の使い方がまとめられています。
内容をご理解のうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。
尚、本使用及び外観は製造改良のため予告無く変更する場合がありますので、
ご了承ください。
本製品の関連情報は弊社ホームページをご覧ください。
URL:www.tiger-mfg.co.jp

使用上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
また、使用には法律及び条例を守り正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し説明しています。

危険　警告　注意

「してはいけないこと」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。

危険 誤った取扱いをすると、死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

雷が発生しているときは、本器及び、柵線に近づかないでください。
感電の原因になります。

本器を有刺鉄線に接続して電気を流さないでください。
人体に重大な危険を及ぼすことがありますので絶対におやめください。

心疾患をお持ちの方は電柵器や柵線などには絶対に触れないでください。
ペースメーカーや医療機器等が影響を受ける可能性があります。

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

制御部の改造・修理・加工を行わないでください。
発火・感電の原因になります。

動作中に制御部の端子や柵線を触らないでください。
感電の原因になります。

心疾患をお持ちの方は電柵器や柵線などに近づかないでください。
ペースメーカーや医療機器等が影響を受ける可能性があります。

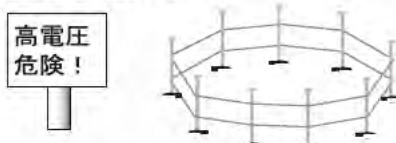
本製品は、動物用です。人間には使用しないでください。
感電の原因になります。

「きけん」表示を柵線周囲に必ず設置し、使用の際は近隣住民に注意を喚起してください。

制御部の隙間に細い棒や針金を入れたり、指などを入れないでください。
感電・故障の原因になります。

幼児の手が届く範囲に電気柵関係資材を設置しないでください。
ケガ・感電の原因になります。

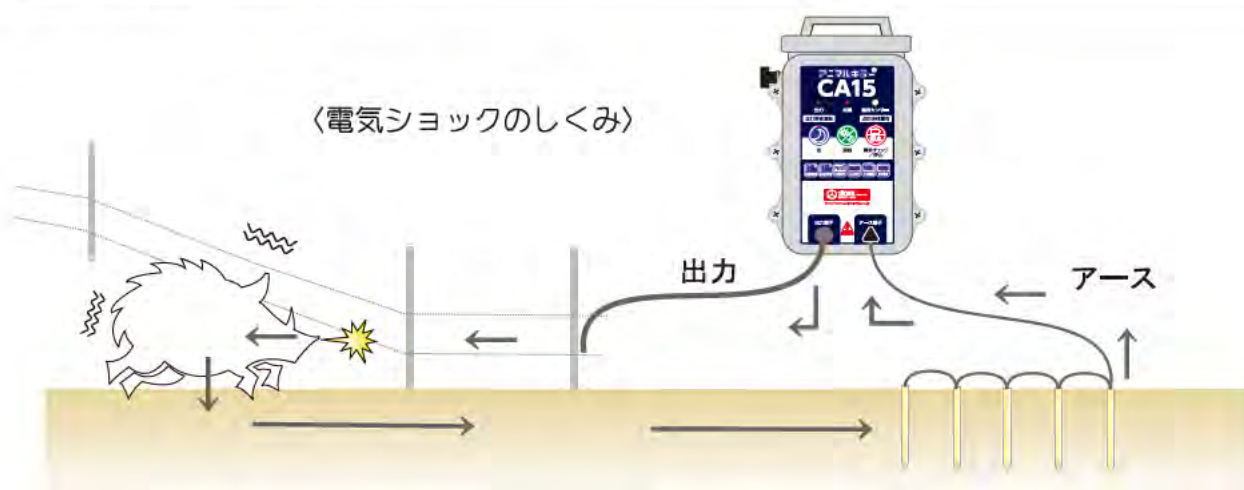
火の近くや、引火しやすいもののそばで使用しないでください。
発火の原因になります。

公道の近くで設置する場合は、ガードフェンスを設け、「きけん」表示を行ってください。
感電の原因になります。

本器、柵線の設置、柵線の修繕を行うときは必ず本器の電源スイッチが停止になっていることを確認してください。
感電の原因になります。

注意 誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

柵線、支柱などは指定の商品をご使用ください。
発火の原因になります。

1

電気柵の基礎知識

ご注意　＊アースが確実でなければ、動物に十分な電気ショックを与えることができません。
アース線の断線やアース不良のないようにご注意ください。また、故障の原因にもなりますのでご注意ください。
＊柵線・支柱などの資材は当社の指定商品をご使用ください。電気的性能が十分に発揮されないことがあります。

各部の名称と働き

入力電圧:DC12V
出力電圧:約9000V
出力周期:約1.2秒

付属品

5連アース棒

アルカリ単一
乾電池×8

危険表示板×2

取付ブラケット

**取扱説明書（本書）
及び、
盗難保証登録用紙**

外部バッテリーコード

2

操作パネル

各ボタンを押すと確認音（ピッピ音）が鳴ります。

①出力ランプ…運転中で電圧が正常なとき、出力に合わせてランプが点滅します。

②点検ランプ…電圧が低下し、システムに異常が発生すると点滅します。柵線の状況や電池残量を確認してください。（P9電池気さくシステムチェック表を参照してください。）

③昼夜センサー…明るさを感知して昼夜を判断します。昼間に受光窓を覆ったり、夜間に光が当たると誤動作をしますのでご注意ください。

④夜運転ボタン…夜間だけ運転するときに押します。押すとランプが点灯し、昼夜センサーにより自動で夜間だけ柵線に電気が流れます。

⑤連続運転ボタン…「昼夜連続運転をするときに押します。押すと出力ランプが点滅し、柵線に電気が流れます。

⑥電池チェック／停止ボタン…運転を停止するときに押します。押したときに、電池残量があればランプが点灯します。

⑦出力端子…出力電圧が発生する端子です。

⑧アース端子…アースを接続する端子です。アース線を確実に接続してください。

本器の準備

①単１乾電池タイプ

①上蓋をはずします。

→

②電池ボックスを取り出します。

→

電池の向きに注意。

③付属のアルカリ単一乾電池×８個をセットします。

④電池ボックスをケース内部の表示の向きに入れます。

←

⑤上蓋をパチッと閉め、準備完了。

◎電池は「富士通アルカリ電池」８本で**約一ヶ月**が交換の目安です。電池の交換時期を記しておきましょう。

②外部バッテリーを使う場合

①電池ボックスを取り出し、
単一乾電池×８個をはずします。

→

②電池コードは繋いだまま、
電池ボックスを、ケース内部の
表示の向きに入れます。

↙

③外部バッテリーコードの
赤線は＋に、黒線はーにそれぞれの
外部電源入力端子に接続する。

→

④外部バッテリーコードの
赤線は＋に、黒線はーにそれぞれの
バッテリー端子に接続する。

〈外部バッテリーをご使用になるときの注意〉

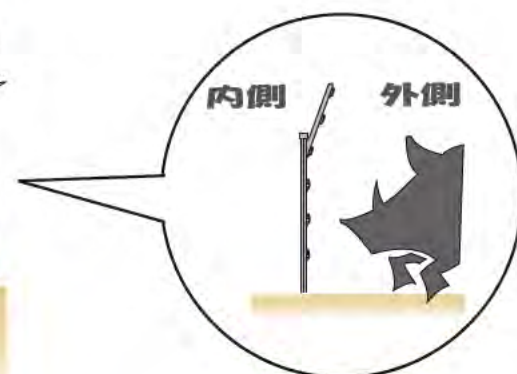
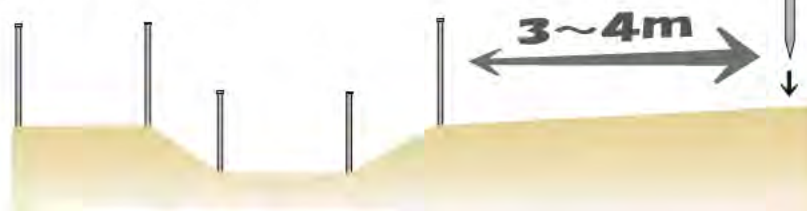
- ❗ １２Ｖのバッテリーをご使用ください。
- ❗ 『電池ボックス』の乾電池は必ずはずしてください。
- 🚫 『電池ボックス』に接続されているコードは、はずさないでください。
  （電池コード⊕⊖どうしの誤接触を防止します。）
- ❗ バッテリーコードを接続するときは⊕⊖を間違えないようにご注意ください。
- ❗ 外部バッテリーについては付属の取扱説明書をご覧ください。

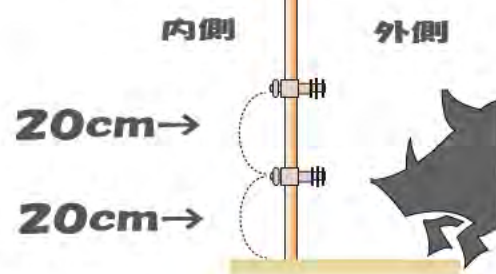
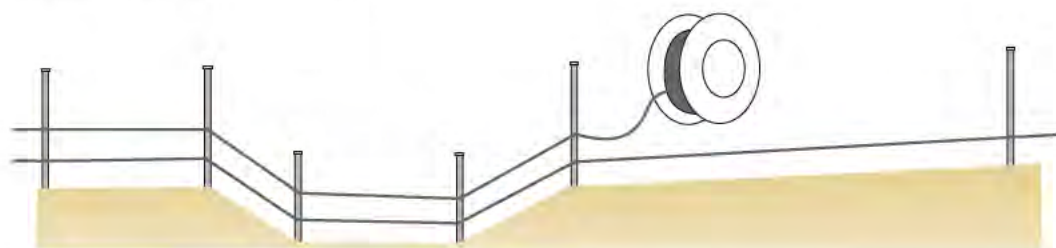
柵線の設置

①草刈り枝払いをして、雑木や金属棒などの障害物を取り除きます。

◎雑草や金属棒などは柵線に触れると
漏電（電圧低下）の原因になります。

②支柱（ポール）を３～４ｍ間隔で打ち込みます。
その際、ガイシのある側が外側になります。

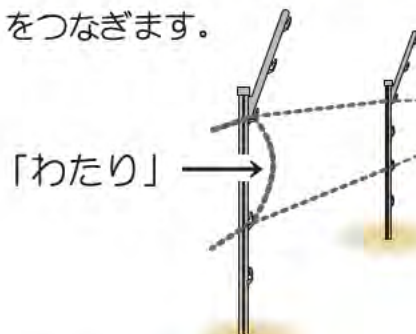
◎地形に凹凸がある場合は上図のように細かく
打ち込んでください。

③ガイシをポールに取り付けます。その際、２０ｃｍ間隔に調整します。
（ガイシ付ポールは不要です。）

◎対象動物が歩行するときの鼻の高さにします。
このとき、高すぎたり、間が開きすぎたりしますと
もぐりこまれてしまいますのでご注意ください。

④下の段から柵線を張っていきます。

◎柵線の高さは地面と平行になるように、凹凸や周囲の状況に応じて支柱（ポール）を増やしたり、
柵線の段数を増やしたりしてください。（下からの潜り込みに注意してください。）

ご注意　柵線をつなぎ合わせる時、違う種類の柵線を使用しないでください。電気腐食の原因になります。
また、柵線をつなぎ合わせる時は確実に接触面積が多くなるように巻きつける回数を多くしてください。

柵線の設置

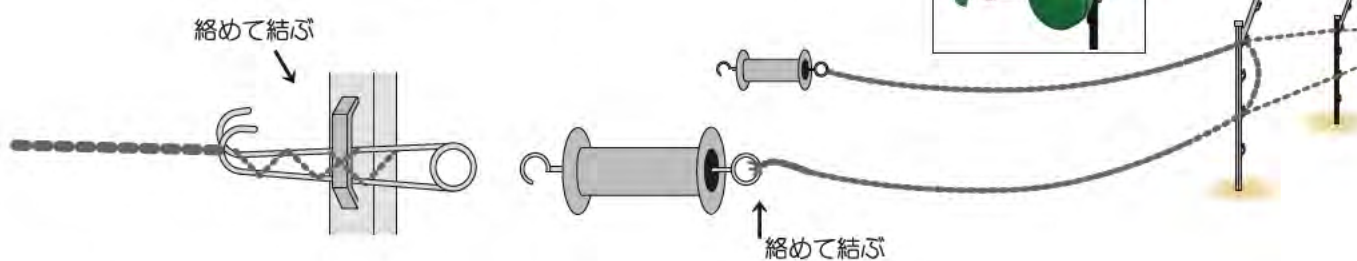
⑤およそ３０ｍ間隔に一ヶ所、上下の柵線を結ぶ「わたり」をつなぎます。

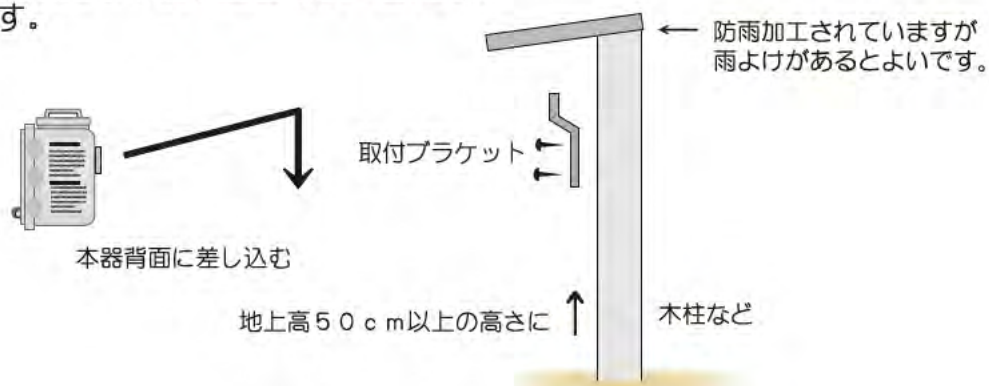
◎「わたり」は断線の際、バイパスの役割をするだけでなく、
柵線の総延長距離や、出力電圧を安定させます。

⑥機械や人の出入りがあるところにはゲートを設置します。

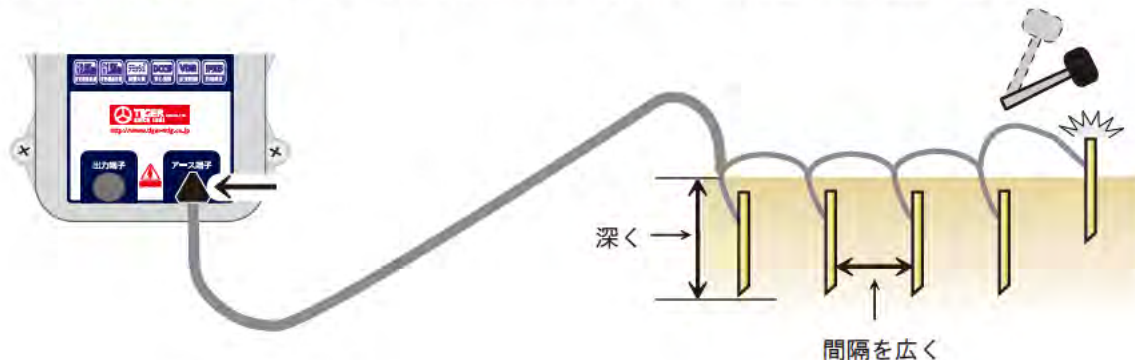
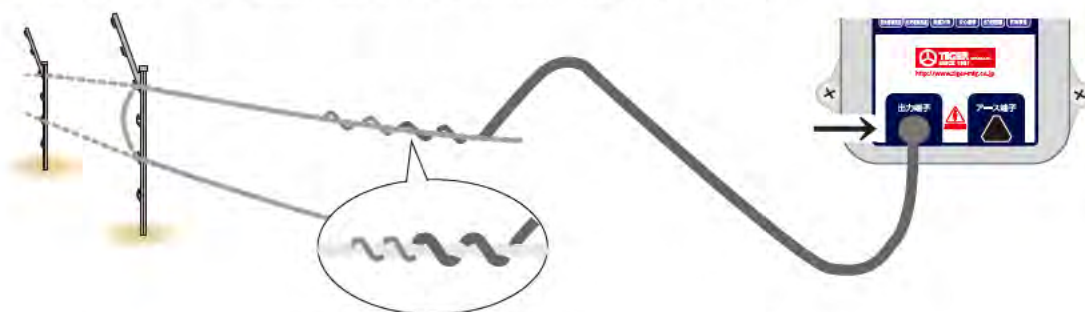
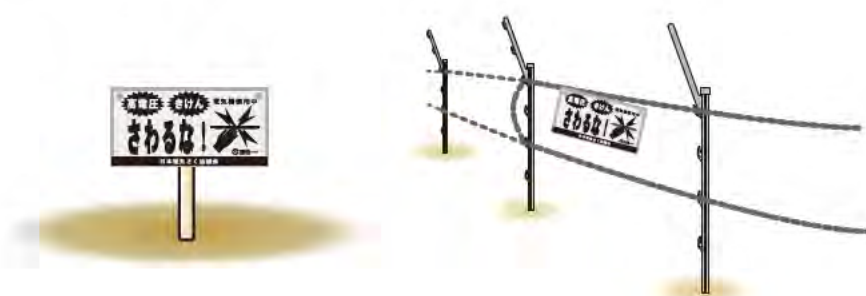
◎ゲートの閉め忘れに注意してください。

ゲートリール

絡めて結ぶ

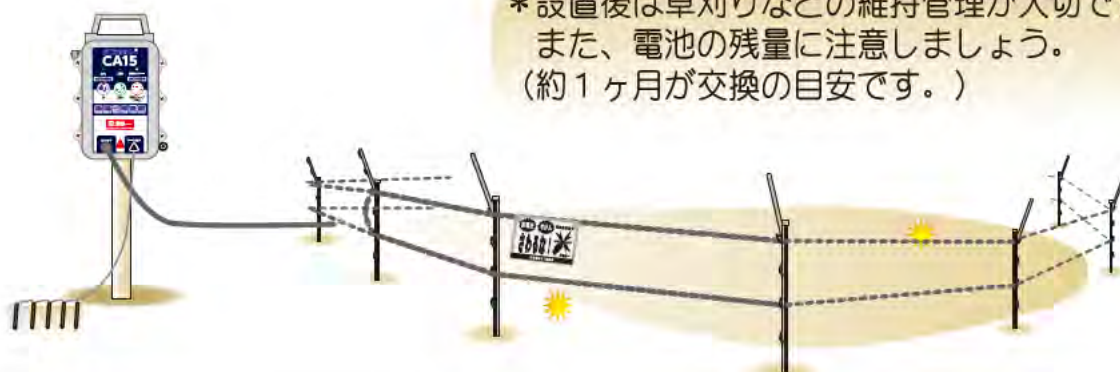
絡めて結ぶ

本器の設置

①付属の取付ブラケットを頑丈な木柱や壁面などに固定し、
本体背面に差し込みます。

②５連アース棒を湿気の多い場所ににできるだけ間隔を広げ、地中深く打ち込みます。
打ち込みが終わったら、５連アース棒の端子を本器のアース端子に接続します。

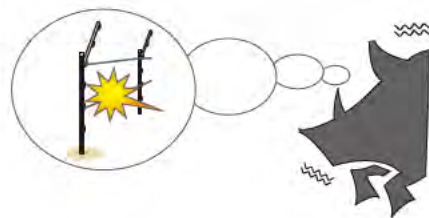
6

③本器の出力コードを柵線に絡めてしっかり巻き付けます。

④人通りのある場所や、出入りのある場所に危険表示板を設置します。
　また、ご近所にも注意を喚起してください。

⑤操作パネルの運転ボタンを押して通電させ、
　本器から最も遠いところで電圧をチェックします。

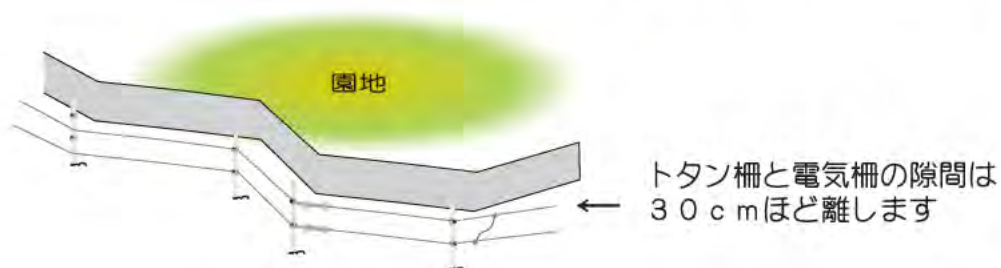
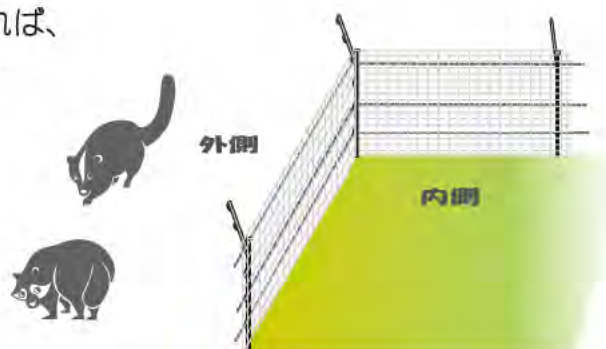
◎常に３つのランプが点滅するようにしてください。

完成

◎できるだけ連続運転してください。
電気ショックの衝撃で対象動物に危険認識させます。

＊設置後は草刈りなどの維持管理が大切です。
　また、電池の残量に注意しましょう。
（約１ヶ月が交換の目安です。）

補足

①電気柵を設置している間は必ず運転させ、電気を流してください。
運転しない時期は速やかに撤去してください。

②トタンなどを併設する場合。

＊トタン柵は視覚的に作物を見えずらくする効果があります。
（ただし、金属が柵線に触れないように注意してください.）

③専用支柱の内側に防除ネットなどを併設すれば、
ハクビシン・タヌキの小動物も防げます。

維持・保守管理について

□本器は防雨加工を施されていますが、水をかけたり水没させないでください。
感電・故障の原因になります。

□本器や柵線をこまめに点検することは重要です。漏電による電圧低下、電池の残量、アース状況にご注意ください。
（「点検ランプ」の点滅は電圧の低下をお知らせします。）

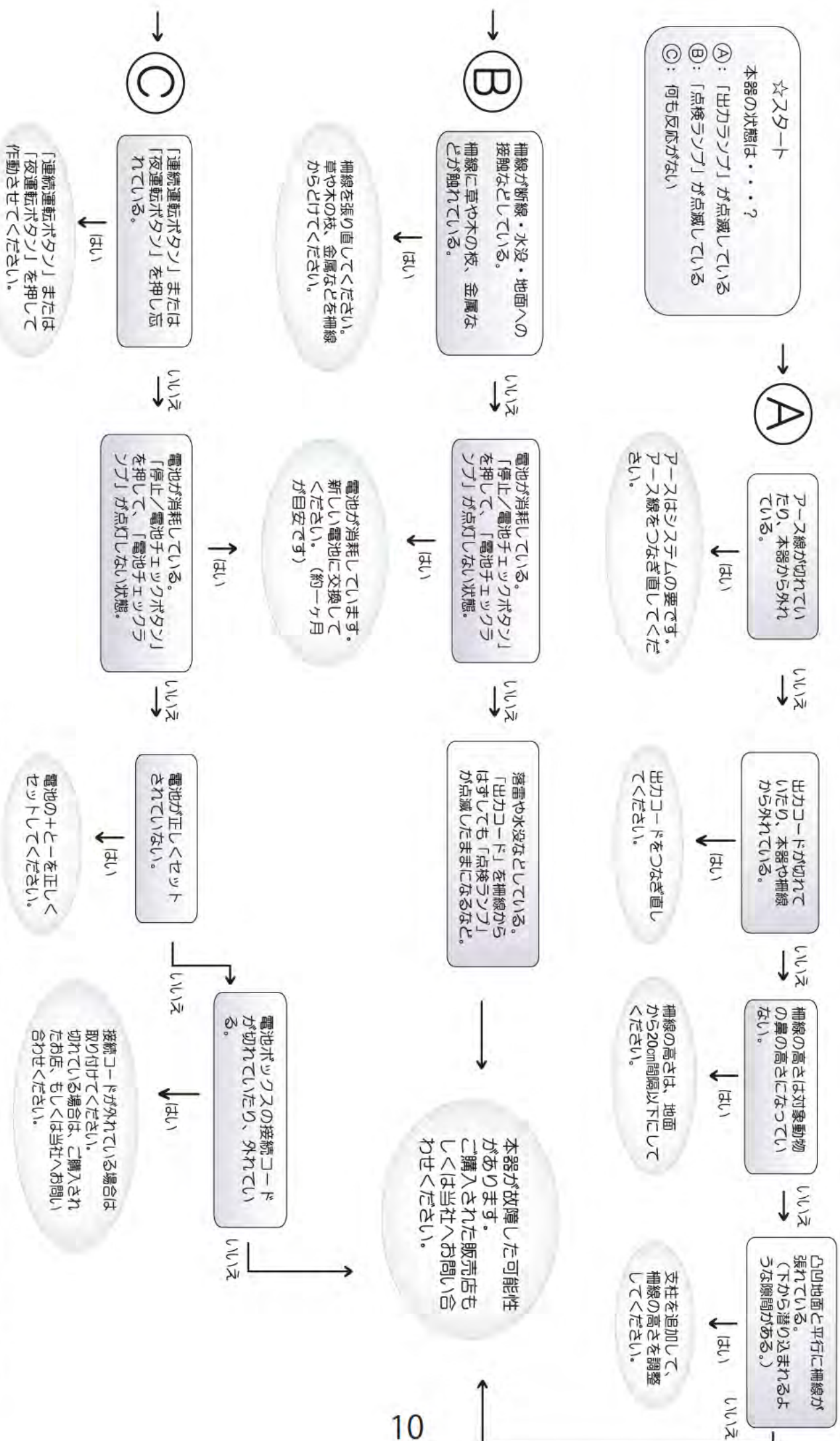
□電池交換は１ヶ月が目安です。

□電池は単一アルカリ乾電池をご使用ください。

□電池ボックスに記載されている注意事項をお守りください。

□＋－の向きにご注意ください。長時間使用しないときは電池をはずしてください。

電気柵システムチェック表

（矢印に従って点検をおこない、対策をしてください）

◎運転開始後、対象動物の接触があります。電気ショックを受け、柵線を切ったりしますので補修点検をしてください
ご質問、不明な点がございましたら販売店またはお近くのタイガー各店へお問い合せください。

タイガー アニマルキラー
「電柵器」

保 証 書

Since 1951
TIGER MFG.CO.,LTD

品　名	アニマルキラー CA15	型式番号	TAK-CA15DC
保証対象	本器	保証期間	(お買い上げ日から) 1年間

乾電池、バッテリー、コード、キャップ類、危険表示板、パッキン、取付金具、アースなどの消耗品は保証対象から除きます。

☆ お買い上げ日	年　月　日

☆ お 客 様	☆ 販 売 店
ご芳名	住所・店名
ご住所 〒	㊞
電話 (　) ー FAX (　) ー	電話 (　) ー FAX (　) ー

注. ☆印欄への記入と販売店印がない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。
販売店様:販売店名の記入、押印をお願いします。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、弊社またはお買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、弊社またはお買上げの販売店にご依頼ください。

1. 無償修理規定
　(1) 保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合には無償で修理いたします。
　(2) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　　イ。使用上の誤り、またはお客様等みよる改造や不適切な修理による事故または損傷。
　　ロ。お買上げ後の落下、輸送、設置場所の移動、水没、農薬の付着などによる故障または損傷。
　　ハ。火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、ならびに公害や異常電圧の印加、その他外部要因による故障または損傷。
　　二。本来の使用目的以外に使用された場合の故障または損傷。
　　ホ。本書のご提示がない場合。
　　へ。本書にお買上げ年月日、お客様の名前、販売店名の記入及び印がない場合、あるいは文句を書き換えられた場合。
　(3) 本書は日本国内のみにおいて有効です。
　(4) 本書の再発行はいたしません。紛失しないように大切に保管してください。
2. 補修用性能部品の保有期間
　補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後7年です。
　(性能部品とは製品の機能を維持する為に不可欠な部品です。)

★本保証書には本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社または販売店にご相談ください。

*鳥獣害防止の得意技あります――。
タイガー株式会社

〒565-0822 大阪府吹田市山田市場10番1号
TEL:(06)6878-5421　FAX:(06)6875-5677
ホームページ:http://www.tiger-mfg.co.jp
メール: info@tiger-mfg.co.jp